

会告

滋賀地盤研究シンポジウムのお知らせ

共催：KG-NET・関西圏地盤研究会， 関西地質調査業協会
滋賀県立琵琶湖博物館

後援：公益社団法人地盤工学会関西支部
日本応用地質学会関西支部

自然災害の大きさを決定する要因の一つは、その場所や地域の地盤条件です。例えば、過去の地震災害で繰り返し経験してきたように、地盤の揺れの大きさや液状化の発生などは地盤条件に左右され、その現象が大きければ人々の生活環境に甚大な被害が及ぼされます。そのようなことから、地域の地盤特性（ローカリティー）を知るために、地域の地盤情報データベース（ボーリングデータ等）を構築し、それを基礎に地域の地盤研究が行われてきました。KG-NET・関西圏地盤研究会（KG-NET：関西圏地盤情報ネットワーク，KG-R）による関西圏地盤情報データベースの構築と地盤研究，また関西地質調査業協会による滋賀・奈良地域の地盤研究は、その代表的な活動です。

両組織は、KG-Rの次期の地域地盤研究活動として、2011年10月から滋賀近江盆地の地盤研究を開始します。本シンポジウムは、この活動を始めるにあたり、これまでの滋賀地域の地盤に関する研究成果を総括し、現在までの知見を学ぶことを目的に開催いたします。滋賀地域の地盤に関して、琵琶湖博物館の取り組みとともに、産官学、理工の各分野で実施された調査検討の成果が一堂に聴講できますので、公開シンポジウムとさせていただきます。多数の参加をお待ちしております。

日 時： 2011年10月25日（火） 13:30～16:45

会 場： 琵琶湖博物館 ホール（滋賀県草津市下物町1091 TEL：077-568-4811）

定 員： 200名（定員になり次第締め切ります）

受講料： 無料

参加申込：下記宛にE-mailで、「講習会申込」、参加者氏名、所属、連絡先、TEL、FAX、およびE-mailをご記入のうえ、お申し込み下さい。

（財）地域地盤環境研究所（KG-NET・関西圏地盤研究会 事務局）

TEL(06)6539-2972 FAX(06)6578-6253 E-mail: geodick-sigasymposium@geor.or.jp

プログラム（予定）：

13:00～13:30	受付	
		（司会）大阪市立大学 三田村 宗樹
13:30～13:35	開会の挨拶	KG-NET・関西圏地盤研究会 委員長
13:35～14:00	琵琶湖博物館における取り組みについて	琵琶湖博物館 里口 保文
14:00～14:40	琵琶湖・近江盆地の堆積環境と変遷	京都大学 竹村 恵二
14:40～15:10	近江盆地の理学的地盤特性	産業技術総合研究所 小松原 琢
	*** 休息 ***	
15:20～15:50	近江盆地の工学的地盤特性	中央開発 東原 純
15:50～16:30	近江盆地の深部構造と地震動特性	鳥取大学 香川 敬生
16:30～16:35	閉会の挨拶	関西地質調査業協会 理事長

※時間、講師は変更する場合があります。